地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

第33号
令和3年
10月1日発行

【編集・発行】敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170(代)



設立
1973年
（昭和48年）
5月

p1　願いよ、届け!
p2　職員寮を建設します
p3-4　離れていたって以心伝心
p5-6　チーム敬老園
p7　五感で味わう敬老園の食事

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

願いよ、届け！



カラっと晴れた気持ちの良い日は、緑が生い茂る山々を見渡しながらデイサービスセンターのご利用者が にしうち敬老園周辺の散歩を楽しまれています。散歩中に施設の敷地内にある観音様にご挨拶をするのが、日課です。

「元気で長生きできますように…。」
「早くコロナが収まりますように…。」

いつも私たちを見守っていてくださり、ありがとうございます。

観音菩薩像は「特別養護老人ホーム入所者や家族、職員の安全安心な暮らしが守られるように」と賀陽恒憲（旧皇族）初代理事長と創始者の斎藤正美5代目理事長の願いが込められており、当時の特別養護老人ホームの入所者や職員らの寄付によって、昭和54年7月に建立。現在の場所（にしうち敬老園敷地内）へは、平成27年7月に移設。碑文には善光寺大観進貫主・三浦義薫大僧正の直筆による「大慈悲乃　御手に　すがりて　花の旅」の文字が刻まれています。

像の高さは台座を含め約3.6メートルで法人発祥の地から昭和、平成、令和と変化する時代の中で敬老園に関わる全ての皆さんと地域の幸せを温かく見守ってくださっています。

社会福祉法人
敬老園

［本部］〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp

■法人本部 人事・教育研修部人事課【担当／山口・尾友】

0120 FreeDial **0120-70-1651**

8:30～17:30

社会福祉法人敬老園　ウェブ検索





※写真はイメージです。

職員寮を建設します！

現地の様子（8/23現在）

職員が働きやすい環境を創造するため上田市御所地区に全28室個室の職員寮を新築いたします。（令和4年3月竣工予定）

新築の職員寮は、しおがわ敬老園（上田市塩川1001）隣地の「塩川あおば寮」に加え、2か所目となります。

法人事業地としては、上田西地区に位置し、報恩寮（養護老人ホーム）やかわべちょう敬老園（小規模多機能型居宅介護・グループホーム）他、複数の事業所が徒歩圏内です。また、生活に便利な周辺環境となっているため、新社会人や1人暮らしが初めてな方でも安心して住んでいただけます。

◎職員寮周辺の環境

- 銀行 200m
- 三好町駅（別所線） 400m
- コンビニ 500m
- スーパー 1km
- 大型商業施設 1.5km
- うえだはら ライフクリニック（敬老園運営） 1.9km

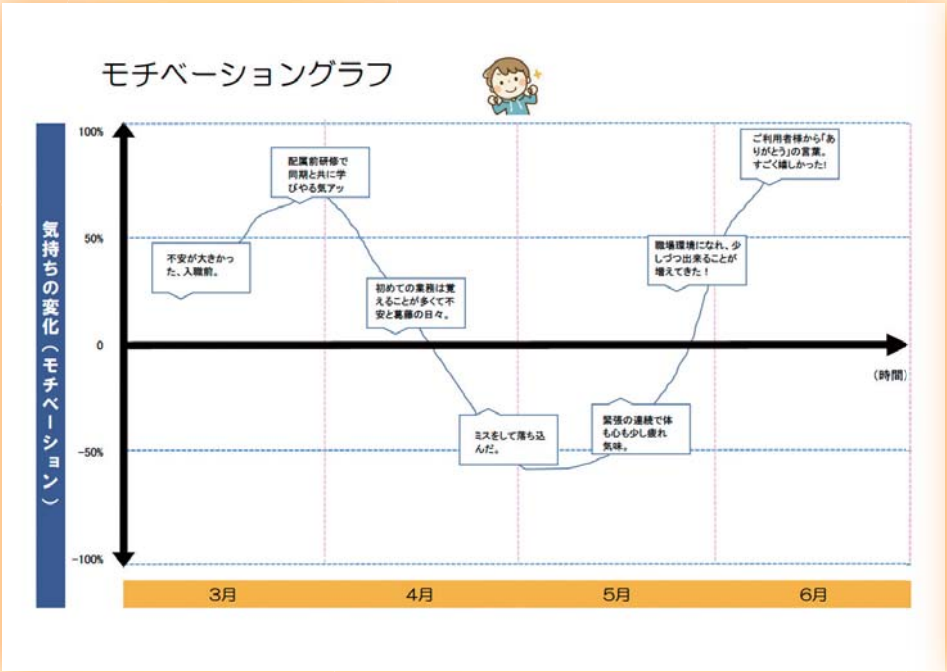
離れていたって以心伝心
わかる、気持ち
～新人職員フォローアップ研修より～

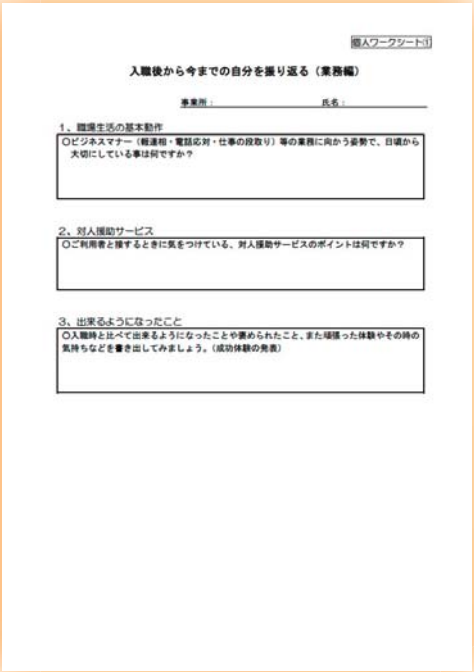


間もなく入職から3か月が経過しようとしていた6月29日（火）に令和3年度 新人職員フォローアップ研修を開催しました。例年ですと同期のみんなが久しぶりに会って、笑顔が絶えない穏やかな雰囲気で開催されるフォローアップ研修ですが、コロナ禍、ご利用者の大切な命をお預かりしている私たちは、常に感染症対策に万全を期すことを考えなければなりません。そのため法人事業地の感染症拡大状況から、初めてオンライン形式での開催となりました。

当初、集合形式で開催の予定をオンライン形式に切り替えたことで「同期のみんなと直接会えることを楽しみに頑張ってきたのに残念です。」と少し肩を落とす新人職員。「画面越しのグループワークや成功体験発表で新人職員個々の想いが共有できるのか。」と教育研修の担当者も試行錯誤の準備・進行となりました。

しかし、そんな不安を吹き飛ばすエネルギーが令和3年度の新人職員25名には、ありました！ 離れていたって以心伝心。




個人ワークシート①

入職後から今までの自分を振り返る（業務編）

事業所：　　氏名：

1、職場生活の基本動作

○ビジネスマナー（報連相・電話応対・仕事の段取り）等の業務に向かう姿勢で、日頃から大切にしている事は何ですか？

2、対人援助サービス

○ご利用者と接するときに気をつけている、対人援助サービスのポイントは何ですか？

3、出来るようになったこと

○入職時と比べて出来るようになったことや褒められたこと、また頑張った体験やその時の気持ちなどを書き出してみましょう。（成功体験の発表）

研修プログラム

●社会人として学ぶことの意義　4つの輪
- ・成長する上で身につけたい基本スキル

●入職後から今までの自分を振り返る（業務編）
- ・職場生活の基本動作
- ・成功体験

●入職後から今までの自分を振り返る（モチベーション編）
- ・モチベーショングラフの作成
- ・今の思いを書き出して、心と頭を整理しよう

●改善課題にチャレンジ
- ・失敗したことなどから改善点を見つけよう

●同期の仲間へのメッセージ
- ・共に働く同期へのメッセージを伝えよう





研修記録から

入職後3か月は、あっという間でした。職場環境は、自分の想像していた通りのとても良い雰囲気ですが、忙しさは自分の考えていた倍以上のものでした。分からないことや出来ないことがたくさんあり、本気で介護の仕事を諦めようと考えてしまいました。でも、幼い頃からの夢であった介護職に就き、毎日働かせていただけることへの幸せを胸に何とか頑張っています。徐々にできることも増え、ご利用者から「ありがとう。」と言っていただき、たくさんの笑顔を見せていただけることで「自分自身がもっと成長できるように!」と思っています。

同期のみんなからの温かい励ましのメッセージを聞いたり、同じ悩みや思いを持っていることを知ることで気持ちが落ち着きました。未熟なことはたくさんありますが、「ご利用者1人1人の気持ちに寄り添う姿勢」は、これからも一番大切にしていきたいと思いました。

新人という看板が付いている今だからこそ、不安や疑問点は先輩職員に確認し、分からないままにしないようにしていきたいです。今度、同期のみんなと会う時は、成長した自分にも会えることを楽しみに頑張りたいです。



自分自身と向き合うことは、新人職員・中堅職員・ベテラン職員に関わらず、次へのもう一歩を踏み出すために必要なことだと感じました。そして、3か月後のこの時期に新人職員と気持ちを共有することが仕事に対する不安解消やモチベーション向上に大きな意味を持つことを改めて考える機会となりました。

これからも全役職員が一丸となってご利用者により良いサービス提供ができるよう取り組んでまいります。



一所で一緒 チーム敬老園

No.18

かるいざわ敬老園
グループホーム管理者
上原 拓



とびっきりの笑顔から放たれる爽やかさと明るさで何事にも前向きに取り組でいます。コロナ禍でもできることを創意工夫し、地域に根ざしたグループホームを目指しています。

※写真撮影時のみマスクを外しています。

福祉の仕事に就いたきっかけを教えてください。

一緒に暮らしていた祖父母のことが大好きだったのがきっかけだと思います。就職を決める時に「絶対に福祉!」ということでもなく、なんとなくが正直なところです。新卒でこの世界に入ってみたものの、数年間は淡々と自分の役割をこなす日々だった気がします。

就職して4年目、話し好きなショートステイのご利用者がいらっしゃいました。職員やご家族と話しをする姿をよく目にしていましたが「あなたしか私の話を聴いてくれないの。」と言われた時に「いつも楽しく話されているのになぜだろう?」と感じたことをきっかけに、気持ちに寄り添う介護の奥深さが魅力に変わったことを覚えています。

今は、グループホームで認知症のご利用者と日々を過ごしていますが、「おはよう。」の挨拶の向こう側にあるご利用者の気持ちを表情や普段の様子から推測し、「今日もお元気ですね。」なのか「体調は、いかがですか?」なのかを考えながら言葉を交わすことを意識しています。

仕事の魅力、やりがいを感じる時を教えてください。

人から感謝されることは、介護の魅力だと思います。あるご家族から「敬老園に入居したことで母の表情も穏やかになり、母にも優しくできるようになりました。本当に感謝しています。」と言っていただいたことは大きなやりがいです。

私は、毎日ご利用者・職員全員から新しい事を学んでいます。人それぞれ考え方が違い、人生経験に深みが出るコミュニケーションを図れることも魅力だと感じています。

また、職場の雰囲気が明るく働きやすい環境です。時には、職員同士でより良い支援についての意見を戦わせることもありますが、笑える時間がたくさんあり、アットホームな場所であると思っています。

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。







かるいざわ敬老園 グループホームでは

コロナ禍で面会や外出に制限がありますが、生活支援や行事等を工夫しながら、前向きに取り組んでいます。

季節を感じていただけるデザート作りや軽井沢地域へのドライブ、マイナスイオンたっぷりの森林浴を行っています。また、室内にいても季節を感じられるように掲示物に工夫をしています。春にはグループホーム内が桜で満開となりました。

ご家族とご利用者が手を取り合って会話が出来ない今の状況は残念です。ご利用者の生活の様子が伝わるように、毎月、ご家族に写真と手紙を送っています。コロナが流行る前から行っていましたが、より丁寧にと心がけて職員みんなが頑張っています。

地域との関わりが減ってしまったため、ベルマーク・牛乳パックを集めて保育園へと寄付。施設職員で集めた食材をフードバンクへと寄付するなど、地域との関わりがなくなってしまわないように取り組みました。地域に支えられている かるいざわ敬老園として、明るく、親しみやすいことを意識しました。

職員同士のつながりも少なくなってしまったので、直接の交流ではない関わりとして、職員の良い所を褒め合う企画「この職員のここがすごい」を実施しました。全職員のすごい所が集まり、チームワークの高さを感じました。

コロナ禍でも心と心が結びつくことで楽しむことはできると実感しています。











季節を感じて「おいしい」を楽しみたい!

うえだ敬老園 上田市中央3-14-5

コロナ禍で、2年目の夏を迎えました。

とても残念ではありますが、昨年に引き続き、各地域で盛大に開催される夏の風物詩の夏祭りや花火大会などの行事が中止になりました。

うえだ敬老園では、コロナ禍でもご利用者の皆様に季節を感じていただきながら、おいしい食事を楽しんでいただくことにより一層力を入れて取り組んでいます。夏と言えば…冷やし中華、うなぎ蒲焼、すいか、そうめん、きゅうりの粕もみ、蒸かしなす などの夏献立を沢山取り入れて、ご利用者の皆様に季節を感じていただいています。

8月8日には納涼祭が行われました。テラスで炭を起こして焼鳥を焼き始めると「この炭の香りで、暑い夏が来たなと感じるよ。」と話されるご利用者もいらっしゃいました。

早くコロナが終息して、今までの日常生活が戻ってくる事をみんなが切に願っています。


納涼祭、焼き鳥

うえだ敬老園 栄養課 管理栄養士 金沢 和子


うなぎ蒲焼き


冷やし中華・餃子 ババロア


天婦羅五種盛

編集後記

東京オリンピック・パラリンピック。選手、スタッフ、関わる多くの皆さんが一生懸命に取り組む姿に胸が熱くなり、自分も頑張ろうと元気をいただきました。頑張ろうと思ったのは、心が動いたからです。そんな瞬間が私たちの仕事の中にもあります。今日が、その日かもしれません。(倉島)